

～拠点の福祉避難所運営訓練～

平成 28 年 10 月 13 日に、千葉市との連携事業として第 2 回目となる災害時に身体障害者や認知症の高齢者らを受け入れる拠点の福祉避難所運営訓練が実施されました。

学生の感想

昨年は、受付係として少し会話をする程度でしたが、2 回目の参加である今年は、一時避難所に見立てた図書館から避難者を受付まで誘導しました。実習などで高齢者と関わることはありましたが、障害のある方と関わることは初めてで、少し緊張しました。視覚障害者の方にはいきなり声をかけない等、個々にコミュニケーションの取り方に配慮が必要なることを学びました。机上での学びではなく実際に関わることができ、介護福祉士をめざす私たちにとって、とても良い経験になりました。



短大 福祉学科 地域介護福祉専攻 2 年 吉川 奈未乃  
千葉県立袖ヶ浦高等学校出身



初めて拠点の福祉避難所運営訓練に参加して受付を担当しました。実際に災害が起こったときには、何らかの特別な配慮を必要とされる方は、大変混乱すると思います。その状況下で、運営スタッフは冷静にさまざまな障害に合わせたケアをしなければいけません。そのためには受付が一番冷静になり、避難してきた方々の障害や怪我の有無を整理して運営スタッフへ伝えることが大切だと感じました。

短大 福祉学科 地域介護福祉専攻 1 年 宮澤 勇樹  
千葉県立若松高等学校出身



～児童障害福祉専攻 卒業生からのメッセージ～



私の就職した保育園は、4 月に新設した園です。異年齢クラス (3～5 歳児) を担当して日々頑張っています。

先日、初めての運動会を開催しました。職員全員で意見を出し合い、一から作り上げました。運動会運営において、学生時代のゼミ活動で、子育て支援・教育実践センターでの運動会を企画実践した経験がとても役に立ちました。子どもたちの真剣な表情や笑顔に感動し、嬉しかったです。

短大 福祉学科 児童障害福祉専攻 16 期生 梅花 莉奈  
千葉県立銚子商業高等学校出身

～見学実習を終えて～

8 月下旬に 3 日間の見学実習に行きました。大学で勉強したことを実際の臨床の現場を見学させていただくことにより、漠然と覚えていたことが、より深い理解に繋がりました。しかし、私を担当して下さった指導員の方に質問をされても分からないことがいくつもあり、自分の知識不足を感じました。今後は勉強方法を改善し、知識を定着させるために、しっかり復習をしていきたいです。



今回の実習では、自分に対する今後の課題や将来働く現場の雰囲気を感じることができ、これからの学修へのモチベーション高めることができました。実習での経験をこれからの学生生活に生かしていきたいです。

大学 保健医療学部 理学療法学科 2 年 高橋 昂平  
千葉県立長狭高等学校出身



～地域介護福祉専攻 卒業生からのメッセージ～

私たちは、それぞれ特別養護老人ホームと介護老人保健施設に勤務しています。卒業して半年が経ち仕事にも慣れ、一人で業務を任されるようにもなりました。

夜勤も始まり、不規則な生活を送るようになって大変な面も多々ありますが、責任感が身につき、やり甲斐も感じています。私たちが関わることによって、利用者様の ADL (日常生活動作) が向上したり、感謝の言葉をかけていただいたりすることに喜びを感じています。

短大の 2 年生で学ぶ、喀痰吸引・経管栄養等の医療的ケアの授業では、実技試験が何度もあり、難しい授業ですが、実際の現場でも実施する場面が多く非常に役に立っています。

利用者様一人ひとりに合ったケアの方法はさまざまで、戸惑うこともありますが、全ては 2 年間で学んだ基礎があるからこそ応用できると感じています。今後も植草学園での学びを忘れずに頑張っていきたいです。



地域介護福祉専攻 今井先生と

短大 福祉学科 地域介護福祉専攻 16 期生 (写真左から)  
五十嵐 美穂 千葉県私立八千代松陰高等学校出身  
山本 菊野 千葉県立千城台高等学校出身  
田村 萌 千葉県私立植草学園大学附属高等学校出身

